



グローバル COE セミナーのご案内

腫瘍における progression history

谷田部 恭 部長
愛知県がんセンター 遺伝子病理診断部

谷田部部長は、肺癌の遺伝子変異について多くの手術検体をもとに研究されています。EGFR の変異と Gefitinib の有効性との相関を示した研究はたいへん有名です。

Ref. Yasushi Yatabe. EGFR mutations and the terminal respiratory unit. Cancer Metastasis Review 29:23-26, 2010.

March 9th Tuesday 16:30～

京都大学大学院医学研究科 F 棟 1 階セミナー室
Building F, Seminar Room

連絡先 病態生物医学分野
(Department of Pathology and Biology of Diseases)

松田 道行 (Michiyuki Matsuda) 内線(4421)